

● 白帆地区（横浜ベイサイドマリーナ地区）

1987年(昭和62年)11月「横浜港港湾計画」において、金沢木材港の遊体化した貯水水面を利用した「金沢地区マリーナ計画」が決定した。



白帆地区 平成30年
(横浜ベイサイドマリーナ地区)

1993年(平成5年)8月埋立工事に着手、1995年(平成7年)3月埋立工事は竣工し、市街化区域編入、用途地域指定(準工業地域等)され、7月に金沢区「白帆」と新町名が決定した。

1997年(平成9年)4月横浜国際港都建設計画「横浜ベイサイドマリーナ地区計画」が決定し、三井アウトレットモールの商業施設及び日本最大級のマリーナ施設やマリーナ関連施設が設置され海洋性レクリエーションの拠点となっている。

● 第1期地区(三井アウトレットパーク)

三井不動産(株)は、1997年(平成9年)1月 第1期地区開発事業者として、横浜市と2018年(平成30年)3月までの期間、事業用定期借地権設定契約を締結、同年4月 横浜国際港都建設計画「横浜ベイサイドマリーナ地区地区計画」決定に基づき「三井アウトレットパーク」の建設を開始、1998年(平成10年)12月までに全施設を開業した。

2018年(平成30年)3月、市との借地契約期間が終了に伴い、同年1月三井不動産(株)が第1期地区(A, C, D街区)の敷地を購入、さらに(有)横浜ベイサイドリゾートからE街区を購入した。

2018年(平成30年)9月、施設建替えのため一時閉館、以前の約80店舗から約170店舗へ拡大し、カフェやレストランを充実させ「1日中過ごせる場」とする施設を建設中であり、2020年(令和2年)4月10日グランドオープンの予定である。

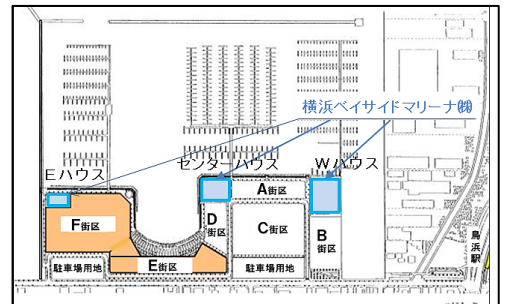
● 第2期地区

2003年(平成15年)1月(有)横浜ベイサイドリゾートが、第2期地区開発事業者として、横浜市からE, F街区を購入し、リゾートホテルを建設予定であったが、不況のため建設は延期された。

2009年(平成19年)に立体駐車場(733台)とカジュアルホテル(31室)が建設され、2014年(平成26年)10月第2期地区整備として、長期滞在型ホテルの建設計画案を提出されたが、実現には至っていない。

「金沢地区マリーナ計画」開発区分

| 区分 | 面積(ha) | 街区 | 事業者 |
|-------|--------|---------|----------------|
| 第1期地区 | 約3.2 | A, C, D | 三井不動産(株) |
| | 約0.8ha | B | ヤマハ発動機(株)等 |
| 第2期地区 | 約3.7ha | E, F | (有)横浜ベイサイドリゾート |



三井アウトレットパーク 横浜ベイサイド(H10~H30)



Wハウス・メンテナンスヤード センターハウス



カジュアルホテル2019.1 解体

<金沢材木港>

横浜ベイサイドマリーナ地区の前身であった金沢木材港は、山下ふ頭の建設に伴い手狭になった横浜港新山下の貯木場機能を移転するための代替地であり、金沢地先第1号地(金沢地区幸浦1丁目)に建設された。埋立て工事は、1970年(昭和45年)に着手し1974年(昭和49年)に完成し、1980年(昭和55年)には全ての施設が整い建設工事が完了した。



金沢材木港(金沢地先1号地)

その後、原木の輸入需要がなくなり、金沢木材港の、貯木水面・整理水面についてはほとんど利用されなくなったため、金沢木材港旧貯木水面の一部を埋立てにより活用することになった。